日本共産党　白井市議員団ニュース　vol.11

# しろい共産党 NEWS（ニュース） 2021年8月

# 医療と命守る本気のコロナ対策を！

政府分科会・尾身会長「(五輪・パラ開催は)矛盾したメッセージ」「(首相・都知事ら40 名出席の会長歓迎会に)人々の意識にどう影響するかが大事と再三申し上げた」

## 市民が語る　不安と怒りの“自宅療養”体験

市長は白井のワクチン接種の早さを誇る一方、自宅療養者支援の要請には「感染者情報教えてもらえない」「県の役割」「市で出来ない」の繰り返し。保健所は限界をこえ、柏では病院に入れず赤ちゃん死亡の悲劇も。なりふり構わず、容態確認や食糧支給他の支援、無料検査と医療施設の設置・確保のために動くべきです。

### 18 時間入院できず、重度の肺炎に

私と夫は、2 人とも感染し自宅療養となりました。船橋の病院で陽性が判明し、白井を受け持つ佐倉保健所からは連絡がなく、千葉県の食糧支援は申請から 1 週間かかるため知人が食料を届けてくれました。発症 4 日後にパルスオキシメーターが届き、夜間に夫の血中酸素飽和度が 88%(99～95 が正常)になって救急車を呼びましたが、入院先が見つからず 18 時間自宅で待ち、「見殺しにされるのか」と怒りがわきました。翌日病院に搬送された時には、夫は重度の肺炎で酸素吸入と点滴が行われ、医者から急変時の人工呼吸器装着の許可を求められました。息子は濃厚接触者なのに、保健所の指示なしでは病院で無料の検査ができず、仕事のため自腹で検査し、陰性を確認しました。

現在、私は自宅で一人療養、夫は病院で治療中です。

### つらい症状に薬なしで耐えた４日間

〈20 代男性〉7 月末、発熱後の検査で陽性になり自宅待機になりました。高熱と強い頭痛・味覚障害の症状が出て、解熱剤が切れたので病院に頼むと「保健所の許可なく出せない」と言われました。保健所に連絡がつくまで 2 日かかり、リモート診療を行ってさらに 2 日後に郵送で薬が来ましたが、一番つらい時は薬なしで乗り越えなければいけませんでした。病院も療養用ホテルも空きがなく、自宅での 2 週間、急変したら…と、とても不安でした。さいわい自宅は 2 階建てで、階を分けて過ごして家族の感染は防げましたが、ワンフロアーなら家族も感染していたかもしれないと思います。